

Please join us!

OSAKA 大阪おおさかの街

九州観光第四弾

長崎県編

九州観光シリーズ第4回目となる今回は、大阪駅前第一ビル8階にある、長崎県大阪事務所を訪ねました。関西・中部圏で唯一の長崎県の総合窓口として、昭和27年より、観光・物産情報の提供をはじめ、求人、企業誘致の業務を行っています。

長崎県のあらまし

長崎県は九州の北西部に位置し、西は東シナ海、北は日本海、東は有明海に面しています。海岸線がリアス式海岸となっているのが地理的な特徴。入り組んだ海岸線の長さは4千キロメートルにも達し、北海道について全国第2位というから驚きます。外洋では東シナ海から黄海にかけて大陸棚が広がり、暖流の対馬海流に韓国の済州島から冷水が流れ込んでいます。プランクトンが豊富なこの海域は西海漁場と呼ばれる世界的な好漁場となっています。

西海漁場から捕れる新鮮な魚介類を原料にした水産加工品づくりも盛んです。長崎県では優れた水産加工品を「長崎俵物」として全国に推奨しています。「長崎俵物」の由来は江戸時代にさかのぼります。鎖国を行っていた当時の日本で唯一海外へ開いた貿易窓口だった長崎では、なまこ、あわび、ふかひれなどの乾物を俵に詰めて清国に輸出していました。それらは「長崎俵物」と呼ばれ、貴重な貿易品として産業を支えていました。

工業では、江戸時代末に政府が日本初の製鉄所を長崎に設立し、日本の近代化の端緒を開きました。明治時代に入って長崎造船所として新政府が経営し、のちに民間企業に払い下げられ、造船とともにタービン・ボイラーなどの製造も行い現在に至っています。昭和31年には造船進水量で世界一となりました。このほか、国際交流の歴史が生んだ祭り、料理、キリスト教に関連する遺産など異国情緒に溢れています。

鎖国とキリスト教

長崎県はその地理的条件により古くから外国との関わりがありました。鎌倉時代の後半にはモンゴル帝国（元）の二度にわたる侵攻があり、対馬や壱岐、松浦地方が襲



リアス式海岸の群島、九十九島くじゅうじま

撃されました。16世紀中ごろから鎖国が始まるまでは、ポルトガルやスペイン、オランダとの南蛮貿易が行われました。平戸にオランダ商館、イギリス商館が設けられ、日本で初めての西洋諸国との貿易が始まりました。日本は、鉄砲、火薬、生糸、絹織物などを輸入し、他国へは、銀、屏風、刀剣などを輸出していました。

しかし江戸幕府は、南蛮貿易によって勢力を増した西日本の大名と、キリスト教が全国統治の妨げになることを憂慮し、1639年鎖国を完成させます。以降、貿易相手国はオランダと清国に限られ、オランダ商館を出島に移し、そこで貿易が行われました。出島内で開業し、また鳴滝塾を開いて西洋医学を広めたドイツ人医師シーボルトの足跡は広く知られています。現在、出島は15分の1の大きさで再現されています。

キリスト教の伝来も長崎の歴史を語る上で外すことはできません。1550年宣教師フランシスコ・ザビエルが平戸でキリスト教を布教したことが日本におけるキリスト教史の始まりです。当初は、全国統一を進める織田信長や豊臣秀吉の保護を受け、発展していききました。ところが、キリシタン大名大友純忠が長崎の町をキリスト教団体イエズス会に寄進したことで、状況は一変しました。大友の行動に腹を立てた豊臣秀吉はバテレン（外国人宣教師）を追放。宣教師、信者を処刑した26聖人殉教事件に発展しました。徳川家康は強大化したキリスト教を警戒し、1613年禁教令を發布。1637年には、厳しい弾圧に反発した天草四郎をリーダーに3万数千人が島原天草一揆を起こしますが、幕府に制圧されます。その後もさらに厳しい弾圧が行われ、信者は五島などの離島で細々と信仰を続けました。

長崎の観光

歴史の中の悲しい一面もありますが、古くから長崎は外国の文化が日本の文化に出会い、融合されてゆく舞台となって来ました。その歴史は、現在の観光資源となっています。その筆頭は料理でしょう。しつぱく料理は中国料理にヨーロッパ風の料理を取り入れ日本人の口にあうようにした郷土の味です。チャンポン、皿うどんは四海楼初代店主が、中国人留学生のために安くて栄養価とボリュームのあるメニューということで発案したものです。佐世保バーガーはアメリカ海軍から教わったのが始まりで今や全国区となっています。長崎はビール発祥の地でもあり、本年9月と10月には世界最大のビール祭り「オクトーバーフェスト」<http://www.nagasaki-tabinet.com/eat/syokuking/beer/> が長崎市と佐世保市で開催されます。祭りでは、迫力満点の龍が空をかける「長崎くんち」（10月7～9日）、故人の霊を船に乗せ、西方浄土へ送る精霊流し（8月15日）、全国の華僑が故郷を偲ぶ中国盆会（8月25～27日）があります。その他、ハウステンボスでは山本寛斎を招いての元氣祭り（7月16日～10月16日）が開催されます。また、歴史好きの方は9月4日京都文化博物館で開催の「旅する長崎学講座」で長崎海道を学んでみてはいかがでしょうかでしょう。

参考 <http://www.pref.nagasaki.jp/koho/hodo/upfile/20110624114317.pdf>

職員の方は、「九州新幹線が開通して大阪から近くなりました。最新情報を長崎旅ネットで検索して、あなた好みの旅プランを立ててください」と仰っています。

長崎県大阪事務所

大阪駅前第1ビル8階

06・6341・0012

長崎旅ネットURL <http://www.nagasaki-tabinet.com/>

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株) ファッションビジネス・御堂筋新聞